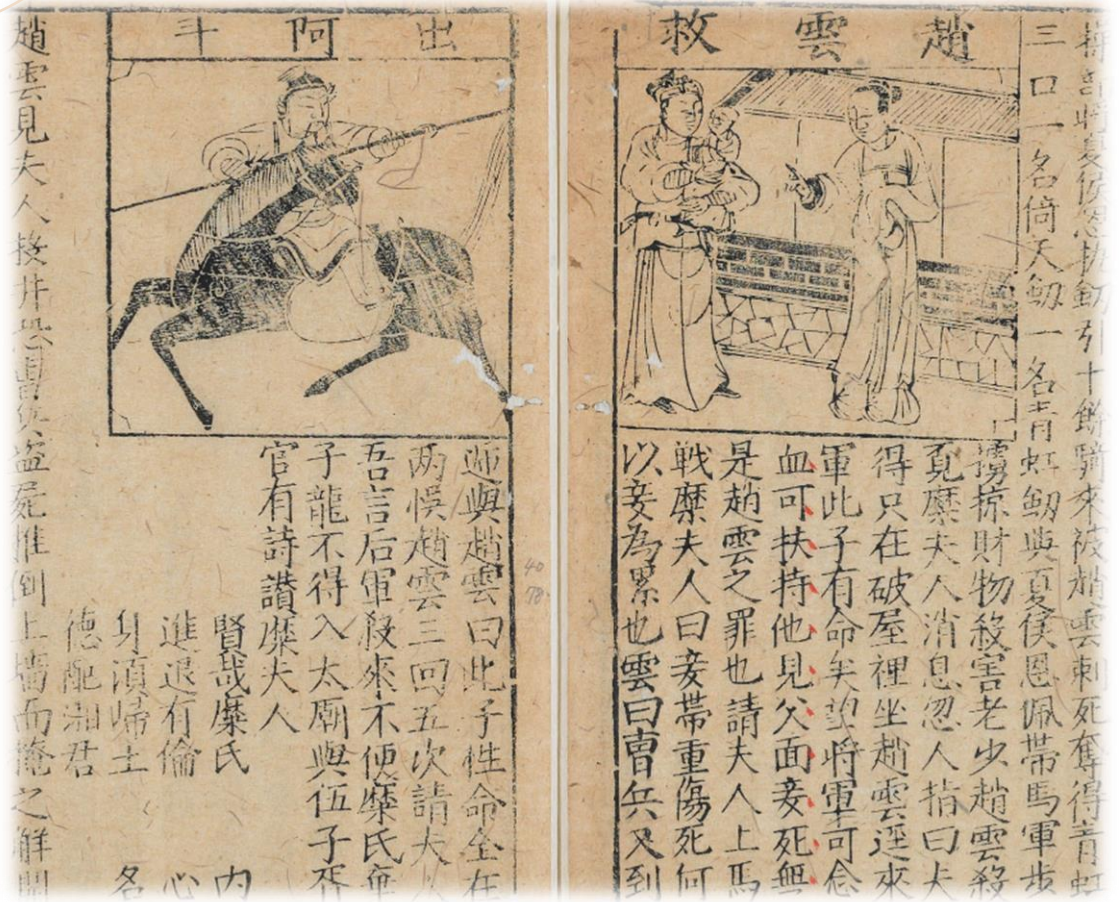


立正大学

# 古書資料館通信

Vol.11



『新刻京本按鑑演義合像三国志伝』

## 目次

貞松文庫について (2) A1~A99の資料紹介 .....	1 頁
寛永の刊記を有す整版本 .....	1 頁
和歌関係の写本など .....	2 頁
貞松文庫 簡易目録 A81~84 .....	5 頁
注 .....	10 頁
表紙資料紹介 .....	10 頁

# 立正大学図書館略史 (品川キャンパス) ——古書資料館前史として 第11回

今回は、前号に簡易リストを掲載した A91～A99 の中から、いくつか資料を紹介して行きたいと思います。また最後に、貞松文庫の A81～A84 のリストを掲載しました。

## 貞松文庫について (2) A91～A99 の資料紹介

### 〈寛永の刊記を有する整版本〉

A91～A99 のリストを見ていくと、寛永の刊記をもつ整版本が数点あることが分かります。それは以下の 3 点です。

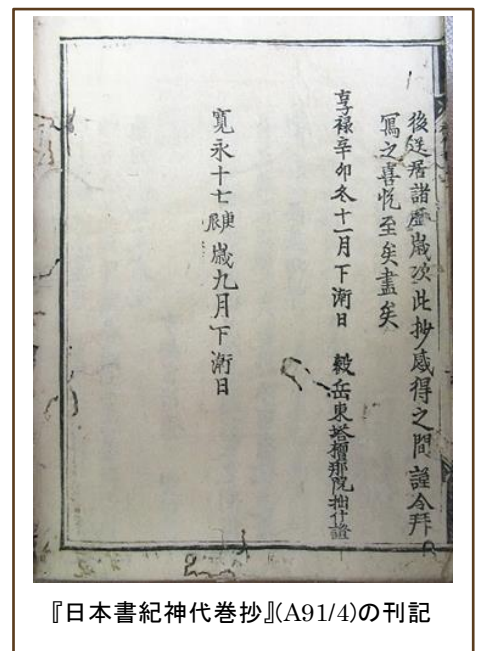
A91/4 日本書紀神代卷抄 11 卷 / 清原宣賢 [著]。7 冊。27.0×18.8cm。寛永 17 年 (1640)。

A94/20 和漢朗詠集 2 卷 / [藤原公任 編]。2 冊。26.6×17.0cm。寛永 5 年 (1628)。

A98/13 三国相伝陰陽輅轄篋篋内伝金烏玉兔集 5 卷 / [伝] 安倍晴明 撰。2 冊。27.9×17.2cm。中野市右衛門、寛永 9 年 (1632) [印]。

これらを、もう少し詳しく見ていくことにしましょう。

『日本書紀神代卷抄』(A91/4) は清原宣賢 (1475～1550) による『日本書紀』の注釈書で、「日本紀神代卷抄」とも呼ばれます。刊記には、「寛永十七 (辛辰) 歳九月下澣日 (括弧内割行) とだけ書かれていて、書肆名の記載がありません。ですが刊記の左側に余白があるため、初版の段階では、そこに書肆名が入っていた可能性もあります (右図参照)。上記の刊年に続き、「洛陽四条坊門通 / 敦賀屋久兵衛」<sup>1</sup> とある版本も存在するようですが、これが最初からあったのか、後から入れられたものなのかは、現物を確認できていないため不明です。ちなみに、A91/4 の 2 冊目には、「寛澄日延」という署名が書き入れられています。日延は日蓮宗の僧だと考えられますが、蓮永寺の歴代住職ではないようです。

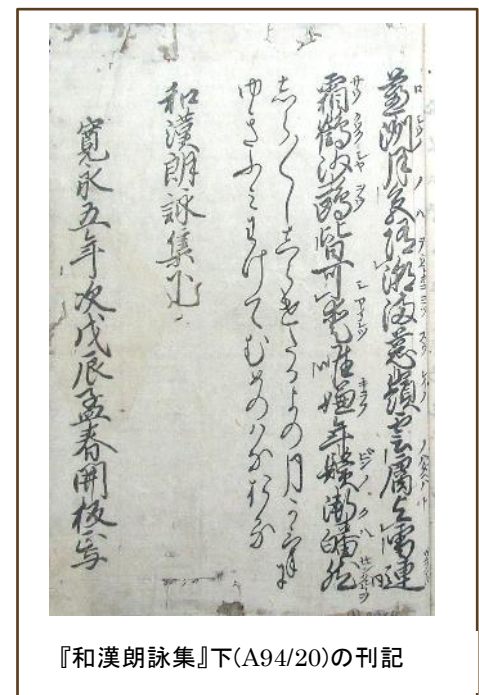


『日本書紀神代卷抄』(A91/4)の刊記

『和漢朗詠集』(A94/20) は、藤原公任 (966～1041) によって編纂された歌謡集です。漢詩と和歌を収録しており、後の古典文学に影響を与えた有名な作品です。刊記には「寛永五年次戊辰孟春開板焉」とあります。こちらにも書肆名の記載はありません (右図参照)。この資料は巻上と巻下の 2 巻 2 冊ですが、上と下で別々の版を取り合わせています。上と下の版式はどちらも無辺無界ですが、漢詩部分は巻上が 7 行 9～14 字程度なのに対し、巻下が 6 行 14 字となっています。版心部分も異なり、巻上が「上」だけなのに対して、巻下には「朗詠下」とあります。巻上は、版式の特徴から延宝 2 年 (1674) 版と推定できます<sup>2</sup>。

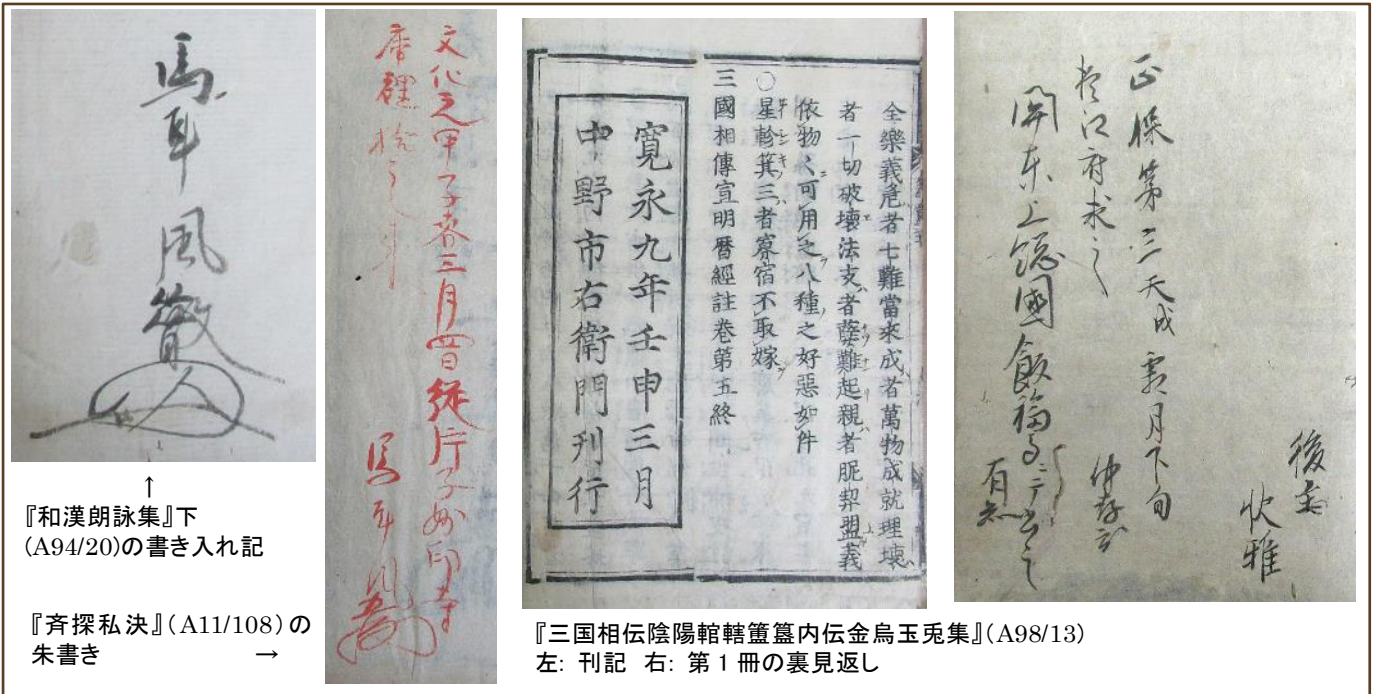
巻上を調査した際に、巻下についても他の寛永 5 年版と見比べてみました。一見しただけではまったく同じに見えますが、よく観察すると字体が微妙に異なる丁がありました。詳細は寛永 5 年版を多数集めて比較しないと分かりませんが、おそらく寛永 5 年版には、後に版木を彫り直した丁を含むものがあるのでしょうか<sup>3</sup>。

巻下の表紙には「馬耳東風」、見返しに「馬耳風散人 (花押)」という書き入れがあります (次頁図参照)。これは、日蓮宗のある僧が



『和漢朗詠集』下(A94/20)の刊記

用いていた号でしょう。貞松文庫の中には、「馬耳風」の名が書き入れられた蔵書が他にも数点か確認できます。たとえば、『斉探私決』(A11/108)には、裏見返しの背面に、「文化之甲子答三月四日従片子妙印寺／庫裡拾之来 馬耳風〔花押〕」という朱書きがあります(下図参照)。この書き入れの内容は、文化元年(1804)3月4日に片子山妙印寺(現千葉県八日市)<sup>4</sup>の僧坊で、この『斉探私決』を見つけてきたというものです。『和漢朗詠集』の下巻も、文化の頃に「馬耳風」が入手したものかもしれません。なお「馬耳風」は、蓮永寺の28・29世の住職だった日富が、20代の頃に用いていた号である可能性があります。これについては、また後の機会に言及する予定です。



↑  
『和漢朗詠集』下  
(A94/20)の書き入れ記

『斉探私決』(A11/108)の  
朱書き →

『三国相伝陰陽館轄篋篋内伝金烏玉兔集』(A98/13)  
左: 刊記 右: 第1冊の裏見返し

『三国相伝陰陽館轄篋篋内伝金烏玉兔集』(A98/13)は、陰陽道に基づく天文暦数の吉凶などを説いた書で、著者は安倍晴明(921~1005)と伝えられています。巻頭の書名はとても長いですが、一般的には、「篋篋」「篋篋内伝」などと呼ばれます。

A98/13には、「寛永九年壬申三月／中野市右衛門刊行」の刊記があります(上図参照)。ですが、刊記の上下の匡郭にはっきりと切れ目が見られることから、この刊記が後から入れられたものであることが分かります。「篋篋内伝」は、江戸時代に古活字版を覆刻した寛永6年の整版本が作られて流布したとされています<sup>5</sup>。この寛永6年版は未見ですが、寛永9年の刊記は、おそらく寛永6年版の刊記を削って入れ木したものでしょう。

この資料の裏見返し(第1冊)には、以下のような3つの書き入れがあります(上図参照)。

- (1) 後主／快雅
- (2) 正保第三天戌霜月下旬／於江府求之 仲存言(記カ)
- (3) 関東上総国飯福寺ニテ書之／有知<sup>6</sup>

それぞれの関係性は明確ではありませんが、確実なことは、A98/13が正保3年(1646)12月下旬に江戸で購入されたこと、上総国飯福寺が所蔵していた期間があったことの2点です。なお飯福寺は、上総国市原郡青柳村(現千葉県市原市青柳)にあった新義真言宗の寺院だと推定されます<sup>7</sup>。A98/13が蓮永寺に納められたのは、飯福寺が手放した後のはずです。

### 〈和歌関係の写本など〉

A91~A99の中には、めずらしい写本が数点あります。まず、和歌に関する以下の写本を取り上げます。

A94/11、911.158/I/42/1,2 今川家集 3巻3冊。半紙本。[江戸後期写]。

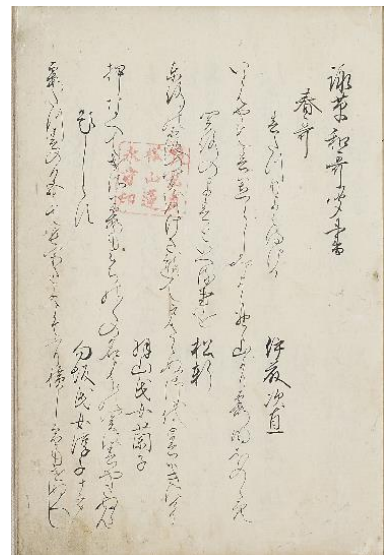
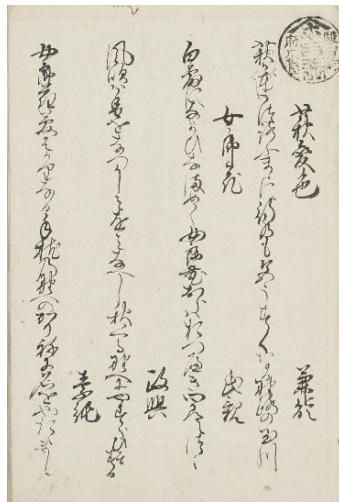
A94/16 詠草和歌聞書 1冊。大本。[元禄4年(1691)]序。

A94/17 執斎草 / [三輪執斎 著]; [定矩公御詠草 并 河田正恒歌] / [蒔田定矩, 河田正恒(川田雄琴) 著]。合1冊。大本。[江戸中後期写]

A94/44 事足 2巻2冊。大本。[江戸中期写]。

これらは、4点とも別に紹介したことがあるので、より詳細な情報を知りたい方は注の文献を参照してください<sup>8</sup>。

『今川家集』(A94/11、911.158/I/42/1,2)は、戦国大名として有名な今川義元の父である氏親(1473~1526)と、その御一家や家臣らの歌を集めた歌集です。歌の作者には、今川家に縁のある宗清(冷泉為広)や正親町三条実望といった公卿も含まれます。部立は春・夏・秋・冬・恋・雑で、収録歌数は949首ですが、本来は千首だったと考えられます。数が足りないのは、親本(書き写す際にもとにした本)に欠落があったため、書写の不備や落丁ではないようです。なお、この書の成立は氏親の代だと推定されますが、駿府四足町の鳴雁堂のものと思われる貸本屋の印があることから、江戸後期の書写と考えられます。



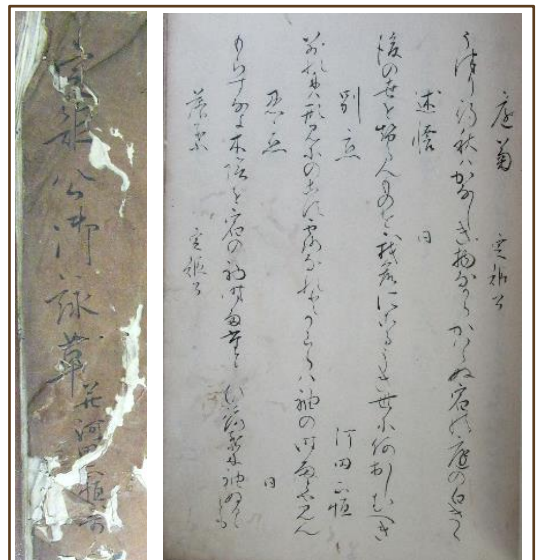
『今川家集』中(911.158/I/42/1)の表紙と1丁表

『詠草和歌聞書』(A94/16)の巻頭

『詠草和歌聞書』(A94/16)は、序文によると、「随庵先生」に師事した遠江(現静岡県西部)の人物が編者で、仲間たちと自らの歌を収録した歌集です。編纂時期は元禄4年(1691)と考えられます。同グループの歌集としては、内閣文庫が所蔵する『細江草』が知られていますが、『詠草和歌聞書』の伝本は今のところ古書資料館所蔵本のみようです。

A94/17は、『執斎草』と『定矩公御詠草 并河田正恒歌』の合冊本です。『執斎草』は、三輪執斎(1669~1744)の歌集です。執斎は漢学者ですが、歌道にも通じており、『執斎遺稿』や『執斎先生詠草』などの歌集を残しています。『執斎草』は『執斎先生詠草』の伝本の一つでしょう。戦前に刊行された高瀬武次郎編『執斎和歌集』(執斎会、1927年)は『執斎先生詠草』を基にしていますが、A94/17の内容と共通する部分があります。

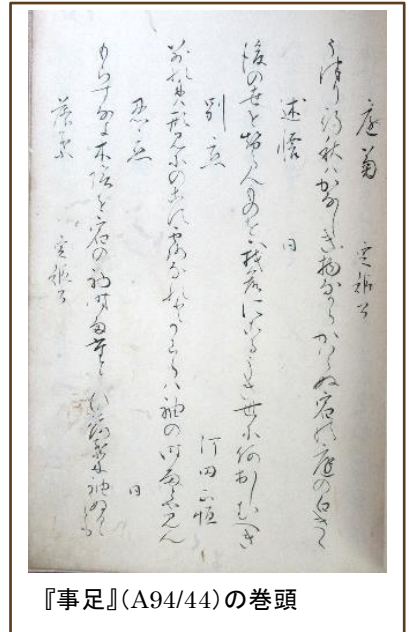
『定矩公御詠草』は350首を収める歌集で、「定矩公」と「河田正恒」の歌が数種ずつ交互に記されています。この2人が何者なのか、断定できるところまでは至っていませんが、現時点で有力なのは、浅尾藩主蒔田家4代目の蒔田定矩(1677~1710)と、執斎の弟子であった川田雄琴(1684~1761)です。雄琴は、伊予大洲藩の藩儒として知られていますが、それ以前には蒔田家に仕えたとされます。『定矩公御詠草』は、もともと独立した1冊本だったものが、蓮永寺で『執斎草』に合冊されたものです。それが分かるのは、貞松文庫の『方丈記』(A94/21)の表紙



左:『方丈記』(A94/21)の表紙の書き入れ  
右:『定矩公御詠草』の巻頭

左肩に、「定矩公御詠草 并河田正恒哥」という墨書きが確認できるためです(右図の左参照)。これは、『定矩公御詠草』が『執斎草』と合冊された結果、余った表紙が『方丈記』の補修に利用されたことを意味します。合冊された理由は、執斎と雄琴が師弟関係にあったためだと推測されます。

『事足』(A94/44)は歌集でなく歌学書で、歌語をいろは順に分けて用例歌をあげ、注釈を加えたものです。序文によると、「事足」(ことたる)という書名には、「我にことたる山の井の水」という和歌の下の句が関係しているようです。序文は歌全体を引いていませんが、この下の句は、「浅くともよしや又汲人もあらし我に事たる山の井の水」<sup>9</sup>から取ったと考えられます。他に汲む人がいないのだから、浅い湧き水でも自分には十分だという意味の歌です。この歌は西行の作とされたり、沢庵和尚が寛永6年(1629)に配流先で詠んだものとされたりする他、細川忠興(1563~1645)が茶入れを「山之井」と命名した際に引用した古歌だとするものもあります(『細川家記』)。事実は判然としませんが、江戸時代に流布していた歌なのは間違いのないようです。『事足』も既存の歌論書に基づき、江戸時代に書かれたものと考えられます。著者は不明です。



『事足』(A94/44)の巻頭

最後に、以下の12冊の兵法書にふれておきます。

A98/1 兵制考 / [高正美 著]。1冊(大本)。<sup>[江戸後期写]</sup>。【寄】

A98/2、A98/4 国兵解 / 高正美 著。5冊(大本)。<sup>[江戸後期写]</sup>。【寄】 \*A98/2は「国兵解 将之巻」(1冊)として登録。

A98/3、A98/5 訳兵詳図 / 高正美 著。5冊(大本)。<sup>[江戸後期写]</sup>【寄】 \*A98/3は「訳兵図説」(1冊)として登録。

A98/6 陣法解 / [高正美 著]。1冊(大本)。<sup>[江戸後期写]</sup>。【寄】

この写本は、蓮永寺において12冊のセットとして扱われたようです。それが分かるのは、各冊の背側の小口に「共十二」という墨書きがあり、下小口に「一」から「十二」の通し番号が朱書きされているためです。また、柿渋色の表紙や大きさ、漢字片仮名交じり文で書かれている点も共通します。著者の記載がない『兵制考』(A98/1)と『陣法解』(A98/6)を「高正美」の著作だと推定したのはこのためです。

ただし、通し番号の順序はあまり信用できません。たとえば、『国兵解』(A98/2、A98/4)の通し番号は、3~6と12です。6と12にのみ巻名があります。6が「地之巻」、12が「将之巻」です。「地之巻」がある以上、「将之巻」だけを特別視し、他の『国兵解』と分ける理由が分かりません。この他にも不自然な点として、5の巻末にある「国兵 大尾」の記載があげられます。「国兵」は「国兵解」のことだと考えられるため、「大尾」とある5が、本来は『国兵解』の最終巻であった可能性があります。

著者の「高正美」がどのような人物なのかは判明していません。「高正美」は、日本人の名前を中国風にしたもので、本来は「高○正美」でしょう。○の部分に入る文字には「野」「橋」「山」などが考えられます。ここで注目したいのは、京都大学が所蔵するとされる『武者組抄』という資料です。現物は未見ですが、これは「兵法」に関する書で、著者を「高山正美」としています(『国書総目録〔補訂版〕』7、岩波書店、1990年、624頁)。あるいは、「高正美」=「高山正美」なのかもしれません。ただし、仮にそうだったとしても、高山正美の経歴も不明です。これについては、さらなる調査が必要でしょう。



『国兵解』将之巻(A98/2)の巻頭

A91~A99の資料紹介は終えて、次回はA81~A84の資料紹介に移りたいと思います。

## 〈貞松文庫 簡易目録 A81~84〉

### ◇版本

- A81/1 尚書 / (日本) 雲川弘毅 改定。2冊 (大)。[明和年中 (1764~1772) 刊]。【貞】【寄】
- A81/2 尚書 13卷 (卷1-5存) / (漢) 孔氏 (孔安国) 伝, (日本) 賀島矩直 句読。3冊 (大)。【貞】【寄】
- A81/3 書経 2卷 / 2冊 (大)。[江戸前期]。【貞】【寄】
- A81/6 詩経 20卷 (卷17-20欠) 附詩譜 / (漢) 毛亨 伝, (漢) 鄭玄 箋, (明) 金蟠 訂。(日本) 井上通熙 [点]。4冊 (半)。[延享4年 (1747)]。【良】【寄】
- A81/8 孝経刊誤 / (宋) 朱熹 [撰]。1冊 (大)。京、武村市兵衛、明暦2年 (1656)。【寄】
- A81/9 孝経釈義便蒙 2卷 孝経便蒙附纂 2卷 / 竹田定直 著, 貝原益軒 訂正。3冊 (半)。京、茨城多左衛門、享保6年 (1721)。【寄】
- A81/12 礼記正文 5卷 / (日本) 葛山寿 (松下葵岡)・(日本) 萩原万世 国読。5冊 (大)。寛政10年 (1789)、青蘿館蔵版。江戸、和泉屋金右衛門 (他5書肆)、天保7年 (1836) [印]。【寄】
- A81/13 礼記正文 5卷 / (日本) 葛山寿 (松下葵岡)・(日本) 萩原万世 国読。5冊 (大)。寛政10年 (1789)、青蘿館蔵版。【貞】【寄】
- A81/14 春秋左伝 30卷 / (晋) 杜氏 (杜預) 集解, (日本) 那波師曾 句読。16冊 (大)。京、中江久四郎、宝暦5年 (1755)。【貞】【寄】
- A81/15 左逸 / [(明) 王世貞 撰], (日本) 湯[浅]元禎 校。1冊 (大)。京、唐本屋左衛門・唐本屋徳兵衛、明和元年 (1764)。【貞】【寄】
- A81/16 春秋集伝大全 37卷首1卷 / (明) 胡広等 奉勅纂修, (明) 虞大復 校, (日本) 羅浮山人 (林羅山) 点。38冊 (大)。官板。【良】【寄】
- A81/17 春秋経 / 1冊 (大)。[江戸前期]。【貞】【寄】
- A81/19 春秋春王正月考 1卷 弁疑 1卷 / (明) 張以寧 述, (清) [納蘭]成徳 校。1冊 (大)。元禄10年 (1697) [刊]。大坂、吉文字屋市兵衛 [印]。【良】【寄】
- A81/20 春秋集註 37卷 / [(宋) 胡安国 撰]。10冊 (大)。京、野田庄右衛門、寛文3年 (1663)。【貞】【寄】
- A81/21 穀梁伝 12卷 / (晋) 范甯 撰, (明) 王道焜 校, (日本) [林]羅山 訓点。4冊 (大)。[京]、荒川宗長、寛文8年 (1668)。【貞】【寄】
- A81/22 周易 2卷 / (日本) 雲川弘毅 改定。2冊 (大)。[明和年中 (1764-1772) 刊]。【貞】【寄】
- A81/23 周易音義 (経典釈文の内) / (唐) 陸徳明 撰, (日本) 藪内信熊 重訂。1冊 (大)。明和5年 (1768) 跋 (「周易尚書音義合刻跋」)。【寄】
- A81/24 周易 10卷 (卷9-10欠) / (魏) 王弼・(晋) 韓康伯 註, (日本) 井上通熙 [校]。4冊 (大)。宝暦8年 (1758) 序。【貞】【寄】
- A81/25 易学啓蒙 4卷 / [(宋) 朱熹撰]。1冊 (大)。【貞】【寄】
- A81/26 易经集註 20卷 / [(宋) 程頤 伝, (宋) 朱熹 本義]。10冊 (大)。京、野田庄右衛門、寛文3年 (1663) [印]。【真】【寄】
- A81/27 爾雅註疏 11卷 / (晋) 郭璞 註, (宋) 邢昺 疏。合1冊 (大)。万暦21年 (1593) 版の重刊本。【貞 (黒)】【寄】
- A81/28 四書便蒙講述 20卷 (卷1欠) / (明) 盧一誠 著。7冊 (大)。[京]、道伴、慶安4年 (1651)。【寄】
- A81/31 中庸 / (宋) 朱熹 章句, 後藤[芝山] 点。1冊 (半)。[江戸後期]。【寄】
- A81/32 中庸 / (宋) 朱熹 章句。1冊 (大)。[江戸後期]。【貞】【寄】
- A81/33 中庸 / (宋) 朱熹 章句。1冊 (大)。[江戸後期]。【貞】【寄】
- A81/34 ; 30 大学解 ; 中庸解 / (日本) 物茂卿 (荻生徂徠) 著。3冊 (大)。[江戸]、玉海堂・群玉堂 (松本善兵衛)、宝暦3年刊。江戸、松本新六・藤木久市 [印]。【貞】【寄】
- A81/35 ; 29 大学解 ; 中庸解 / (日本) 物茂卿 (荻生徂徠) 著。3冊 (大)。[江戸]、玉海堂・群玉堂 (松本善兵衛)、[宝暦3年刊]。【貞】【寄】
- A81/36 大学 (改正四書集註の内) / (宋) 朱熹 章句, (日本) 後藤芝山 [点], (日本) [後藤]師周 校訂。1冊 (大)。[江戸後期]。【寄】
- A81/37 大学 / (宋) 朱熹 章句。1冊 (大)。[江戸後期]。【貞】【寄】

- A81/39 藍田先生講義 / [伊]東亀年 著, [伊東]惟肖 輯。1冊(大)。江戸、鈴木善五郎(他3書肆)、寛政6年(1794)。完閑齋蔵版。【貞】
- A81/40 藍田先生講義 / [伊]東亀年 著, [伊東]惟肖 輯。1冊(大)。江戸、鈴木善五郎(他3書肆)、寛政6年(1794)。完閑齋蔵版。【貞】【寄】
- A81/41 論語疑弁 5巻(巻3,5欠) / 森木久明 [著]。3冊(半)。正徳2年(1712)序。【寄】
- A81/42 論語 10巻 / (宋)朱熹 集註。4冊(半)。[江戸後期]。【貞】【寄】。第4冊(巻8-10)は取り合わせ本(【寄】のみ)。
- A81/43 論語古訓正文 2巻 / (日本)太宰定保 校, (日本)[太宰]春台 点。1冊(大)。江戸、小林新兵衛、天明7年(1787)。【貞】【寄】
- A81/44 論語 10巻 / (魏)何晏 集解, (日本)[伊藤]東涯 考訂。2冊(大)。江戸、須原茂兵衛、享保17年(1732)。【寄】
- A81/45 論語 不分巻(学而第一~郷党第十 存) / 1冊(半)。【寄】
- A81/46 論語 2巻(四書正文の内) / 1冊(大)。【寄】
- A81/49 孟子 / 1冊(大)。京、須原屋平左衛門, 江戸、同平助、文化9年(1812)刊。大坂、秋田屋太右衛門(他11書肆)[印]。【寄】
- A81/51 孟子 14巻 / (宋)朱熹 集註。4冊(大)。京、書林堂(立石徳右衛門)、寛文9年(1669)。【寄】
- A81/78 中庸章句 / [(宋)朱熹 章句]。1冊(大)。「呉氏校本」(版心下部)。【寄】
- A81/136 周易伝義大全 / 24巻(巻3-5, 19, 20欠) 首1巻 / (明)胡広 [他] 奉勅修, (日本)鶴[飼]信之。10冊(大)。京、村上平楽寺、慶安5年(1652)。【寄】
- A81/141 詩経 20巻(巻8-17欠) 附詩譜 / (漢)毛[亨]伝, (漢)鄭[玄]箋, (明)金蟠 訂, (日本)井[上]通熙 [校]。4冊(大)。江戸、前川六左衛門(他3書肆)、延享4年(1747)。【貞】【良】
- A81/212 論語徴集覧 20巻(巻1欠) / (魏)何晏 集解, (宋)朱熹 集註, (日本)[伊藤]藤維楨 古義, (日本)物茂卿(荻生徂徠) 徴。(日本)源頼寛 輯。19冊(大)。[宝暦10年(1760)刊]。観濤閣[蔵版]。巻之1欠。巻20の13丁以下落丁。【貞】【寄】
- A82/1 老子麴齋口義 2巻 / (宋)林希逸 [撰], (日本)徳倉昌堅 [首書]。合1冊(大)。京、上村次郎右衛門、延宝2年(1674)。【貞】【寄】
- A82/3 老子翼 6巻(巻5-6欠) / (明)竝弱 輯, (明)王元貞 校。4冊(大)。【貞】【寄】
- A82/4 唐陸徳明庄子音義 3巻 / (唐)陸徳明 [撰], (日本)[服部]南郭 考訂。3冊(大)。江戸、植村藤三郎、寛保元年(1741)刊。京、玉枝軒(植村藤右衛門)[印]。【貞(墨)】【寄】
- A82/5 音釈文段批評庄子麴齋口義大成理詮鈔 19巻首1巻 / 毛利貞斎 述, [毛利]瑚珣 校閲。20冊(大)。[京]、舛屋甚兵衛・銭屋庄兵衛、元禄16年(1703)。【寄】
- A82/8 全文抱朴子 内篇4巻外篇4巻 / (晋)葛洪 [撰], (明)慎懋官 校。8冊(大)。[京]、林正五郎・井上忠兵衛、元禄12年(1699)刊。享保11年(1726)[修]。京、林安五良[印]。【良】【貞】【寄】
- A83/1 近思録 14巻(巻8-14欠) / [(宋)朱熹・(宋)呂祖謙 編], (日本)山崎嘉(闇齋)[点]。3冊(大)。寛文10年(1670)序。【良】【寄】
- A83/3 九經談 10巻 / 大田元貞(錦城) 著, 奥山清興・亀卦川守一 [他] 校。4冊(大)。文化元年(1804)刊。江戸、和泉屋庄次郎(他3書肆)、文化12年(1815)[印]。【貞】【寄】
- A83/4 左国易一家言 3巻 / 谷川順 著。3冊(大)。大坂、浅野弥兵衛(他2書肆)、文政元年(1818)。含章堂蔵[版]。【寄】
- A83/5 西河合集 9巻 / (清)毛奇齡 稿, (清)文輝 [等] 校, (日本)山本[北山] 閱。5冊(大)。[江戸]、蔓延堂(足利屋勘兵衛)、寛政12年(1800)。
- A83/6 対類二十四孝 2巻(下欠) / 了義日達 編輯。1冊(大)。享保2年(1717)序。【貞】【寄】
- A83/7 訓訳示蒙 5巻 / [荻生徂徠 著]。合1冊(半)。元文3年(1738)[刊]。江戸、松本新六・同善兵衛[印]。【貞】【寄】
- A83/8 西河折妄 3巻 / 猪飼彦博(敬所) 著。3冊(半)。駿府、鉄屋十兵衛、文政12年(1829)[刊]。【良】【寄】
- A83/10 孔子家語 10巻 / (魏)王肅 註。5冊(大)。京、風月宗智、寛永15年(1638)。【貞】【寄】
- A83/11 増註孔子家語 10巻 / (魏)王肅 注, (日本)太宰純(春台) 増注。5冊(大)。江戸、須原屋新兵衛、寛保2年(1742)。【良】【寄】
- A83/47 近思録 14巻(巻3-5存) / [(宋)朱熹・(宋)呂祖謙編]。1冊(大)。【貞】【寄】。次の別版本と取り合わせ。

- A83/47 近思録 14 卷 (卷 8-14 存) / [(宋) 朱熹・(宋) 呂祖謙編], (日本) 宇[都宮] [首書]。6 冊 (大)。京、吉野屋権兵衛、延宝 6 年 (1678)。【貞】【寄】
- A83/48 太極図説 / (宋) 周濂溪 [撰], (日本) 熊谷立閑 [首書]。1 冊 (大)。江戸、須原茂兵衛、元禄 13 年 (1700)。【貞】【寄】
- A84/2 増註唐賢絶句三体詩法 (三体詩素隠抄) 3 卷 / (宋) 周弼 選, (日本) 素隠 鈔。13 冊 (大)。京、西田勝兵衛尉、寛永 14 年 (1637)。【貞】【寄】
- A84/3 金詩選 4 卷 (卷 4 欠) / (清) 顧奎光 編輯, (清) 陶玉禾 參評, (日本) 館柳湾 校。3 冊 (大)。江戸、宮商閣 (須原屋善五郎) 他 3 書肆、[文化 4 年 (1807)]。【寄】
- A84/5 解經秘蔵 3 卷 / 寺尾正長 [著]。3 冊 (大)。京、菱屋孫兵衛 (他 6 書肆)、天明 5 年 (1785) [刊]。京、菱屋孫兵衛、[文政元年 (1818) 印]。【良】【寄】
- A84/6 唐詩句解 / [入]江忠圃 (南溟) 著。9 冊 (半)。[江戸中期]。滄浪居 (入江南溟) 蔵刻。【良】【寄】
- A84/8 絶句解拾遺 / 物茂卿 (荻生徂徠) 著, [荻生]道濟 校, 宇恵子迪 (宇佐美瀧水) 再校句読。1 冊 (半)。江戸、松本新六・善兵衛 (他 3 書肆)、[明和 3 年 (1766)]。【貞】【寄】
- A84/9 唐詩選掌故 7 卷 / (明) 李攀竜 編選, (日本) [千]葉玄之 集註。2 冊 (半)。明和元年 (1764) 跋。【貞】【良】【寄】
- A84/10 稻川詩草初編 7 卷 / 山梨治憲 著, [稻川]文行 輯, 塩谷定暹 訂, 戸塚維春 校。5 冊 (半)。駿府、鉄屋十兵衛、文政 4 年 (1821)。【貞】【寄】
- A84/13 中華若木詩抄 3 卷 / 如月[寿印]註。3 冊 (大)。豊雪齋道伴、寛永 10 年 (1633)。【貞】【寄】
- A84/14 吟鬚撚余 / 西島長孫 編選。1 冊 (大)。山口七兵衛、享和 4 年 (1804)。【良】【寄】
- A84/15 節序詩集 12 卷 / [山本泰順 編]。合 6 冊 (大)。京、風月[堂]、寛文 7 年 (1667) [印]。刊記入れ木。【寄】
- A84/16 文化嚮風草初編 3 卷 / 安達文仲 (清河) 刪定, 石[川]公瑟 録, [多]田良益 校。2 冊 (大)。明和 7 年 (1770) 序。市隠亭蔵 [版]。【寄】
- A84/17 両東唱和録 2 卷 / 1 冊 (大)。正徳 2 年 (1712) 序。大坂、日新堂蔵版。【寄】
- A84/18 明霞先生遺稿 8 卷 / 宇鼎士新 (宇野明霞) 撰。5 冊 (半)。京、田原重兵衛、寛延元年 (1748)。【良】【寄】
- A84/19 三島浮遊 / 平石咸 (松亭) 著。宇薫教・源世璋・田保考 輯。1 冊 (大)。寛政 2 年 (1790) 序。清齋蔵 [版]。【寄】
- A84/20 来青軒詩稿 2 卷 / 岡長祐 (長洲) 撰。2 冊 (半)。天明元年 (1781) 序。【良】【寄】
- A84/21 北遊詩草 初編 / 服[部]圭言 著, [服部]致恭 録。1 冊 (半)。安永 5 年 (1776) 序。【良】【寄】
- A84/22 東海遊囊 / 安修 (安達清河) 著, 武竜 (竜草廬)・左鳳 輯。1 冊 (大)。天明 5 年 (1785) 序。【良】【寄】
- A84/23 醉客漫興集 2 卷 / 内田叔明 (鶴洲) 著。渡辺昂・内田毅 輯。1 冊 (大)。享和元年 (1801) 跋。【良】【寄】
- A84/24 韻府古篆彙選 / (明) 陳策 纂輯, (清) 顧嗣昌・(清) 陳瀟・(清) 陳濤 閱。5 冊 (大)。京、柳枝軒方道、元禄 10 年 (1697) 序刊。京、[小川]多左衛門、正徳 3 年 (1713) [印]。【貞(黒)】【寄】
- A84/26 磨光韻鏡字庫 (磨光韻鏡後編の内) 2 卷 / [文雄 著]。2 冊 (大)。安永 9 年 (1780) [刊]。大坂、柏原屋屋清右衛門、天明 8 年 (1788) [印]。【貞】【寄】
- A84/27 磨光韻鏡 2 卷 / 文雄 述。2 冊 (大)。京、八幡屋四郎兵衛、延享元年 (1744)。【貞】【寄】
- A84/28 韻鏡字子 (鼈頭韻鏡) 3 卷 (卷上存) 首 1 卷 / [太田子規 著]。1 冊 (大)。貞享 4 年 (1687)。序と上の合冊。【寄】
- A84/29 韻鑑古義標註補遺 / 界浦子 (河野界浦) 撰。1 冊 (大)。京、文台屋次郎兵衛・秋田屋平左衛門、元文 3 年 (1728)。【寄】
- A84/30 知命開宴集 3 卷 (卷 1 存) / 正親町実連 [他作]。1 冊 (大)。[江戸中期]。【寄】
- A84/32 幼学詩韻三編 / 東条琴台 校閱, 小里景儔・吉田清 (鷺湖) 輯。1 冊 (半)。江戸、須原屋茂兵衛・須原屋伊八 (他 4 肆)、天保 13 年 (1842)。【寄】
- A84/35 謀野集刪 / (明) 王穉登撰, (日本) [田中]蘭陵 [点]。1 冊 (大)。享保 20 年 (1735) [刊]。京、植村藤右衛門・植村藤次郎, 江戸、植村藤三郎 [印]。【寄】
- A84/36 重修磨光韻鏡余論 3 卷 / 文雄 撰、法得 校。3 冊 (大)。京、菊屋喜兵衛, 江戸、柏原屋金兵衛; 大坂、柏原屋清右衛門、文化 4 年 (1807)。【良】【寄】
- A84/37 金玉編 3 卷 / (元) 仲銘 [編]。1 冊 (大)。京、長尾平兵衛。【寄】
- A84/38 賓館縞紵集 2 卷 (七家唱和集 卷 9-10) / 祇園南海 [等著]。1 冊 (大)。出雲寺和泉掾・瀬尾源兵衛・唐本屋清兵衛、正徳 2 年 (1712)。【寄】



- A84/39 正徳和韓集 2巻〈七家唱和集 巻3-4〉／高玄岱 [等著]。1冊(大)。[出雲寺和泉掾・瀬尾源兵衛・唐本屋清兵衛、正徳2年(1712)]。【寄】
- A84/40 支機問談〈七家唱和集 巻5〉／三宅觀瀾 [著]。桑韓唱酬集〈七家唱和集 巻7〉／[服部]寛斎 [等著]。合1冊(大)。[出雲寺和泉掾・瀬尾源兵衛・唐本屋清兵衛、正徳2年(1712)]。【良】【寄】
- A84/41 二十四孝詩註／猷山 述。1冊(大)。[貞]【寄】
- A84/42 精選唐宋千家聯珠詩格 20巻／(元)于濟・(元)蔡正孫 編集。10冊(大)。[京]、吉野屋権兵衛、正保2年(1645) [印]。刊記入れ木。[貞(墨)]
- A84/43 新刻陳眉公攷正国朝七子詩集註解 7巻／(明)陳繼儒 句解, (明)李士安 補註, (日本)宇[都宮]遯庵 [点]。2冊(大)。元禄2年(1689) 跋。[貞]【寄】
- A84/44 新刻陳眉公攷正国朝七子詩集註解 7巻／(明)陳繼儒 句解, (明)李士安 補註, (日本)宇[都宮]遯庵 [点]。2冊(大)。元禄2年(1689) 跋。[良]【寄】
- A84/45 唐柳河東集 45巻首1巻目錄1巻遺文1巻外集2巻／[(唐)柳宗元 撰], (明)蔣之翘 輯注。(日本)鶴飼石斎 訓点。36冊(大)。[京、秋田屋平左衛門]、寛文4年(1664) [刊]。京、中江久四郎 [印]。[良]
- A84/46 真草倭玉篇 5巻／5冊(横中)。京、林甚右衛門、寛永20年(1643)。【寄】
- A84/47 杜律五言集解 4巻／(明)邵伝 集, (明)陳学樂 校。4冊(大)。杜律七言集解2巻は欠。首書あり。[良]【寄】
- A84/48 剛斎残稿 3巻／江宗珉(江村剛斎) 著。2冊(大)。京、林九兵衛、元禄5年(1692)。[良]【寄】
- A84/49 駿府詩選 4巻文選1巻／[小田]穀山 編選。1冊(大)。江戸、小林新兵衛、享和3年(1803)。[良]【寄】
- A84/50 風水稿 4巻／禅智[日]好 述。4冊(大)。江戸、丹波屋甚四郎、享保15年(1730)。[貞]【寄】
- A84/52 楚辞 8巻(巻4-8存) 後語 6巻(巻1-3存)／(宋)朱熹 集註。3冊(大)。京、村上平樂寺(村上勘兵衛)、慶安4年(1651) [印]。刊記入れ木【寄】
- A84/54 評苑文選傍訓大全 15巻／(明)余国賓 総閱, (明)王象乾 刪訂。10冊(大)。京、風月勝左衛門、元禄13年(1700)。[貞]【寄】
- A84/56 増続大広益会玉篇大全 10巻首1巻／(日本)毛利貞斎 編。12冊(半)。大坂、鳥飼市兵衛(他5書肆)、享保20年(1735)。[寄]
- A84/57 王昌齡詩集 5巻／[(唐)王昌齡 撰], (明)許自昌 校, (日本)菊隱 訓点。2冊(大)。京、天王寺屋市郎兵衛、享保18年(1733)。[寄]
- A84/58 明七子詩解 7巻／井[上]通熙 著。3冊(大)。京、梅村三郎兵衛(他3書肆)、宝暦7年(1757)。[寄]
- A84/59 江陵詩集 4巻／万庵原資 著, [松下]烏石 輯校。4冊(大)。江戸、植村藤三郎・山城屋茂左衛門、延享2年(1745)。[貞(墨)]【寄】
- A84/60 広韻 5巻／[(宋)陳彭年 等奉勅]。5冊(大)。天保2年(1831)。[寄]
- A84/62 重刊許氏説文解字五音韻譜 12巻／[(宋)李燾 撰], (日本)夏川元朴 訓点。12冊(大)。寛文10年(1670) 跋刊。京、小林庄兵衛(他6書肆) [印]。[良]【寄】
- A84/63 玉篇〈和玉篇〉 3巻／夢梅 [校]。5冊(大)。慶長10(1605)。[寄]
- A84/64 滄溟尺牘兒訓 3巻／新井白蛾 著。3冊(半)。江戸、小林新兵衛、明和6年(1769)。[書]
- A84/65 魁本大字諸儒箋解古文真宝後集 10巻／[(宋)黄堅 編]。2冊(大)。[江戸前期]。
- A84/67 倭楷正訛／太宰純〈春台〉 著。1冊(大)。明和3年(1766) 刊。大坂、河内屋儀助、文化2年(1805) [印]。[寄]
- A84/68 權推字原／葛辰〈松下烏石〉 [著]。1冊(大)。寛政5年(1793) 跋刊。[寄]
- A84/69 宋三家詩話／(宋)欧陽修・(宋)司馬光・(宋)劉攽 撰, (日本)市田鵬程・(日本)小島澄 校。1冊(大)。京、葛西市郎兵衛、大坂、河内屋八兵衛、江戸、山城屋佐兵衛、文化13年(1816)。[良]【寄】
- A84/70 丹丘詩話 3巻 附詩家本草／芥煥(芥川丹丘) 著。2冊(大)。京、唐本屋吉左衛門、寛延4年(1751)。[貞]【寄】
- A84/71 詩藪 内編6巻外編6巻雜編6巻続編2巻／(明)胡応麟 著。6冊(大)。京、武村新兵衛、貞享3年(1686)。[寄]
- A84/72 大広益会玉篇 30巻／(梁)顧野王 撰, (唐)孫強 增加, (宋)陳彭年等 [修撰]。合2冊(大)。京、滝(丸屋)庄三郎、万治2年(1659) [印]。刊記入れ木。[良]【寄】
- A84/74 松桂園詩集 7巻／陰山雍〈松桂園〉 著。3冊(大)。江戸、須原屋善五郎・須原屋弥三郎、文化3年(1806)。[貞(黒)]【寄】
- A84/75 鍾情集／[服部]愿卿 著, 熊[本]元朗 輯。1冊(大)。江戸、植村藤三郎、寛保元年(1741)。[寄]
- A84/76 唐後詩絶句解国字解 8巻／[田中]江南 記。4冊(半)。京、梅村市兵衛(他6書肆)、安永6年(1777)。[寄]

- A84/77 蓬蒿詩集初編 3卷 / 西川国華 著。1冊(半)。江戸、西村宗七、文化11年(1814)。【良】
- A84/80 韻鏡易解改正(新增韻鏡易解大全)4卷 附韻鏡字子列位 / 盛典 述。5冊(大)。京、山口(和泉屋)茂兵衛、享保3年(1718)。【貞】【良】【寄】
- A84/81 字考 / (明)夏宏 撰, (明)黃元立 統訂, (日本)長谷川良察 [首書]。1冊(大)。江戸、万屋清兵衛、正徳元年(1711)。【貞】【寄】
- A84/82 韻学口訣 / 池田柳絮 伝, 田川周芳 撰。1冊(大)。大坂、田原屋平兵衛・山城屋忠次郎、宝暦11年(1761)。【貞】【寄】
- A84/83 重校正字磨光韻鏡(磨光韻鏡後編の内) / [文雄 著]。1冊(大)。安永9年(1780)。【貞】【寄】
- A84/84 翻切伐柯篇(磨光韻鏡後編の内) / [文雄 著]。1冊(大)。京、山本長兵衛、安永2年(1773)。【貞】【寄】
- A84/85 袖珍増補仄声略韻 / 2冊(半)。【良】【寄】
- A84/86 詩筌 5卷 / [鷹見]正長 輯。2冊(半)。江戸、嵩山房、享保7年(1722)序跋。【貞】【寄】
- A84/87 詩筌 5卷 / [鷹見]正長 輯。2冊(半)。江戸、嵩山房、享保7年(1722)序跋。【良】【寄】
- A84/91 唇言抄 2卷 / 林道春 編。1冊(大)。元和6年(1620)跋。【貞】
- A84/92 隸弁 2卷 / (清)顧藹吉 撰集, (日本)鎌田禎 纂校。2冊(大)。大坂、森川久兵衛・葛城長兵衛(他3書肆)、寛政4年(1783)。【寄】
- A84/95 田園雜興講弁卷1 / 又夢逸老 著, 杉山虚中 校。1冊(半)。文政元年(1818)刊。雪松書屋蔵板。【良】
- A84/98 和漢音釈書言字考節要集 10卷(卷1-3存) / 植郁(植島昭武) 輯。3冊(半)。京、村上平楽寺、[江戸中期]。【良】【寄】
- A84/99 増益伊呂波雜韻 3卷 / 1冊(半)。大坂、大野木市兵衛、元禄7年(1694)。【寄】
- A84/100 干禄字書 / (唐)顔元孫 [撰]。1冊(大)。宝永4年(1707)跋。井上秋閑蔵版。【寄】
- A84/102 穀山先生詩文集 / [小田穀山 著]。1冊(大)。江戸、万屋太治右衛、寛政11年(1799)。【書】
- A84/103 韓槎墳集 2卷 附東方頌言 / 合田惠 著。2冊(大)。[江戸]、千鐘堂(須原屋茂兵衛)、延享5年(1748)。【貞】
- A84/104 朝鮮賦 / (明)董越 撰, (明)王政 校。1冊(大)。大坂、浅野弥兵衛、[江戸中期]。【貞】
- A84/105 日本文鈔 3卷 / 源世昭 輯。3冊(大)。寛政12年(1800)序。【貞(黒)】【寄】
- A84/106 魁本大字諸儒箋解古文真宝後集 2卷 / (宋)黃堅 集。2冊(大)。[京]、村上勘兵衛、延宝5年(1677) [印]。刊記入れ木。【寄】
- A84/107 古文真宝後集合解評林 10卷 / [毛利虚白(貞齋) 校輯]。5冊(大)。延宝7年(1679)。【寄】
- A84/112 古今韻会挙要小補 30卷首1 / (明)方日升 編輯, (明)李維楨 校正。31冊(大)。余彰徳・余象斗同刊本の重刊。【良】【寄】
- A84/113 五車韻瑞 160卷(序目1卷欠) 附洪武正韻 / (明)凌稚隆 編輯。[(日本)菊池東与 点]。50冊(大)。京、八尾勘兵衛、万治2年(1659)。【良】【寄】
- A84/114 新刊校正用字格 3卷 / 伊藤長胤(東涯) 輯。4冊(半)。京、林権兵衛、享保19年(1734)。古義堂 [蔵版]。【貞】【寄】
- A84/115 訳筌初編(訳文筌蹄) 6卷首1卷 / [荻生]徂徠 口授。6冊(半)。京、沢田吉左衛門、正徳5年(1715)。【寄】
- A84/116 訳筌初編(訳文筌蹄) 6卷首1卷 / [荻生]徂徠 口授。6冊(半)。京、沢田吉左衛門、宝暦3年(1753)。【貞】【寄】
- A84/117 助辞訳通 3卷 / 岡白駒 著。3冊(半)。江戸、出雲寺和泉掾・吉文字屋次郎兵衛。宝暦12年(1762)序。本藩蔵板。【寄】
- A84/118 説文字母集解 6卷 / 井上支庵 編。6冊(大)。江戸、川村源左衛門・植村藤三郎、寛保元年(1741)。【良】【寄】
- A84/119 書法千字文略解 / 蘭溪 著。1冊(大)。江戸、和泉屋庄次郎、文政7年(1824)。【寄】
- A84/120 正字千文(《楷書歌訣》、字学津梁の内) / (明)李登 [撰]。1冊(大)。江戸、前川六左衛門、宝暦5年(1755)序。【寄】
- A84/121 千字文略解 / (梁)周興嗣 次韻, 蛾術斎(石川雅望) [略解]。1冊(半)。[江戸]、耕書堂(蔦屋重三郎)。[寛政3年(1791)] 序。【寄】
- A84/122 書言俗解 6卷(卷6欠) / [榊原篁洲 著]。5冊(半)。[貞享2年(1685)]。【良】
- A84/405 説文解字韻譜 5卷(卷1欠) / [(南唐)徐鍇 撰]。4冊(半)。京、谷岡七左衛門、[江戸中後期印]。刊記入れ木。【寄】
- A84/411 新刻重校増補円機活法詩学全書 24卷(卷2, 13, 16, 17, 20存) 新刊校正増補円機詩韻活法全書 14卷(卷

5欠) / (明) 王世貞 増校。詩学 5冊・韻学 13冊 (中)。【貞】【寄】

A84/412 字彙 12巻首1巻末1巻 / (明) 梅膺祚 音釈。14冊 (大)。[江陰]、玉樹堂 (郁文周)、万曆43年 (1615) 序。【寄】

A84/413 梨雲館類定袁中郎全集 24巻 (巻1欠) / (明) 袁宏道 著。17冊 (大)。京、小島市右衛門 (他2書肆)、元禄9年 (1696)。【貞】【寄】

A84/416 重刊許氏説文解字五音韻譜 12巻 / [(宋) 李燾 撰]、(日本) 夏川元朴 訓点。12冊 (大)。寛文10年 (1670) 跋。【貞】【寄】

## ◇写本

A82/2 老子麴齋口義抄 2巻 / (宋) 林希逸 [著]。1冊 (大)。【良】【寄】

A84/34 富師遺稿韻学全書 1巻 / [日富著]。1冊 (大)。[江戸後期]。【寄】

A84/101 古声譜 / [山梨稲川 著]。2冊 (半)。文政6年 (1823) [写]。【寄】

\* 基本的に旧漢字・異体字は通行の字体へと変更。「版本」の部は、特に記載がなければ袋綴の整版本。

\* 冊数の後の (大) は大本、(半) は半紙本、(中) は中本、(横中) は横中本を指す。

\* 【 】 の記号の意味は以下の通り。【貞】 → 「貞松文庫」朱印。【貞 (黒)】 → 「貞松文庫」墨印。【良】 → 「良岳貞松山蓮永寺印」印。【安】 → 「貞松山安置」。【寄】 → 寄贈印。【書】 → 蓮永寺の印や寄贈印はないが、「貞松文庫」などの書き入れがあるもの。【原】 → 原簿以外に蓮永寺の寄贈本である情報がないもの。

## 注

- 岡雅彦他編『江戸時代初期出版年表』(勉誠出版、2011年)、229頁。
- 比較には、早稲田大学所蔵本(文庫31 E0103)、国文学研究資料館所蔵本(サ1-11)を用いた。
- 蔵中しのぶ「和漢朗詠集」版本の本文一和歌の版本独自異文=寛永3系統を中心に付、現存「和漢朗詠集」版本書目集覧」(『大東文化大学紀要 人文科学』28、1990年)を参照。
- 日蓮宗寺院大鑑編集委員会編『日蓮宗寺院大鑑』(池上本門寺、1981年)、178頁。旧本寺は中山法華経寺。
- 渡辺守邦『篋篋抄』以前一狐の子安倍の童子の物語一(『国文学研究資料館紀要』14、1988年)、73頁。
- 第2冊の裏見返しには、(3)に当る書き入れはない。
- 寺院本末帳研究会編『江戸幕府寺院本末帳集成』中(雄山閣出版、1981年)、1456頁。
- 「古書資料館の蔵書 17 和歌関係の写本一『詠草和歌聞書』『執斎草』『今川家集』について」(『日本古書通信』85-5、2020年5月)、「古書資料館の蔵書 24 歌学書『事足』について」(『日本古書通信』85-12、2020年12月)など。
- 『和漢三才図会』巻73「苔清水」(大和・吉野郡・42丁表)。古書資料館所蔵(A99/8)による。

立正大学古書資料館専門員 小此木敏明



## 表紙資料紹介

新刻京本按鑑演義合像三国志伝 20巻8冊 A86/3

(晋) 陳寿著。閩：勤有堂羅端源，万曆38年(1610)序。

明末に刊行された三国志演義の一つ。貞松山蓮永寺の旧蔵書で、表紙に「岸本縣令」を祝福する書き入れが見られる。「岸本縣令」は、蓮永寺に墓所がある駿府代官の岸本十輔のことだと考えられる。掲載した画像は巻之7の23丁裏から24丁表。上部の挿絵は、主君である劉備の子の阿斗を、趙雲が長坂坡で救出する場面。



## 立正大学古書資料館通信

第11号

令和3年3月31日発行

編集・発行 立正大学図書館 品川学術情報課  
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

TEL : 03-3492-6615

HP : <http://www.ris.ac.jp/library/>